関川村指定ごみ袋作成等業務仕様書

1 目的

本村は国が選定する脱炭素先行地域に選定されており、CO₂の排出抑制のみならず、エネルギーの地産地消や村内資源の有効活用を目指しています。一方、廃棄物分野でも、温室効果ガス削減の観点から、カーボンニュートラルであるバイオプラスチックの利用を検討しています。

また、国は「プラスチック資源循環戦略」において、2030年までにバイオマスプラスチックを、約200万t導入することを目標に掲げています。

しかしながら、バイオマスプラスチック原料は海外に依存しており、安定的かつ低コストで原料調達できるかが大きな課題となっているため、可能な限り国内資源を活用したバイオマスプラスチックの製造が求められています。

本業務は、村の基幹産業である農業の中で最も割合の高い「米」を原料の一部に使用したごみ袋で、温室効果ガスや石油系プラスチックの抑制につながることを村民に身近に感じてもらえるよう取り組むものです。そして、将来的には、関川村産の米も原料の一部に使用してもらうよう農業部門、企業と一体となって連携を図ることで、村農業の発展に寄与することや、資源の地産地消と併せてCO₂排出量の削減を目指します。

2 指定ごみ袋作成に関すること

(1) 指定ごみ袋の作成枚数及びサイズ

種類	サイズ	作成枚数	印刷	材質等
可燃・不燃 ごみ兼用袋	大 (45ℓ) ※別紙のとおり	150,000 枚	単色 片面	・米を原料の一部に使用した高密度バイオポリエチレン (バイオマス率 25%) ・半透明 ・厚さ 0.03 mm
	中 (30ℓ) ※別紙のとおり	100,000 枚		
計		250,000 枚		

(2) 指定ごみ袋の形状及び印刷内容

- ・指定ごみ袋の形状は、レジ袋タイプとする。(取っ手・ガゼット・ベロ付)
- ・寸法については、別紙を目安とし、最終的な決定は村と協議を行った上で村の指示に従うこと。
- ・強度については、ごみ袋としての十分な強度を保持し、村民生活における使用上、また、ごみ収集作業上支障のない強度を有すること。なお、JIS規格 (Z1702-1994 及び Z1711-1994) の基準を準用すること。

- ・指定袋の印刷内容は、別紙に示すレイアウト例を参照すること。図案、掲載内容、レイアウト及び色彩について、最終的な決定は村と協議を行った上で村の指示に従うこと。

なお、印刷内容については、指定袋の大きさにより拡大・縮小し、制作にあたっては事前にレイアウト及び表示色等の校正を受けること。

(3) 外装袋

- ・材質はポリエチレン、無色透明、厚さ 0.03 mmとする。
- ・寸法については、折りたたんだ指定袋 10 枚を収納でき、また、指定袋の取り出しに支障のない大きさとする事とし、最終的な決定は村と協議を行った上で村の指示に従うこと。
- ・折りたたんだ指定袋を、1 枚ずつ取り出せるよう、外装上部に半月状のミシン目を入れ、取り出し口を設けること。
- ・印刷内容は、単色片面とし、掲載内容、レイアウト及び色彩の最終的な決定は村と協議を行った上で村の指示に従うこと。

(4) 納品の包装形態等

- ・指定ごみ袋の包装形態は、各サイズ（大・中・小）ともそれぞれ 10 枚を外装袋に入れたものを 1 セットとすること。
- ・上記 1 セット×50 を段ボール箱 1 箱に梱包して納入すること。
- ・納入場所は配送拠点倉庫又は一時保管倉庫への一括配送とする。

3 指定ごみ袋の保管管理・配送に関する事

(1) 指定ごみ袋の保管管理

- ・有料指定ごみ袋であることに留意し、盗難・紛失・汚損などがないように厳重に保管管理すること。各サイズ（大・中・小）の種類ごとに保管し、他の商品との混同や遺失盗難を防ぐこと。先入れ先出しの原則で管理すること。

(2) 指定ごみ袋の配送

- ・契約者は、指定袋販売取扱店からの注文により、月に 1 回の配送を原則とする。ただし、予期せず大口の注文があった等の止むを得ない理由による場合は、臨時的に発注を受け付けること。
- ・注文の受注単位については、段ボール箱の梱包形態を単位とすること。
- ・指定袋販売取扱店については、別紙のとおり。

(3) 業務報告

- ・契約者は、毎月末の販売取扱店への納品内訳、在庫状況を翌月 15 日までに村に報告すること。

4 見積に関すること

- ・見積書は、別紙見積内容を参考とすること。

5 支払いに関すること

- ・契約者は、全量を納品後、村が検査を実施し、検査に合格した場合、本村へ支払いの請求を行うものとする。

6 その他

- ・その他詳細事項については、契約者と村の協議で決めることとする。